

愛知県警察本部等へ感謝状を贈呈

日本損害保険協会中部支部（委員長：中西 貴志・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員）では、6月16日（金）に、愛知県警察本部生活安全部生活経済課・北警察署・昭和警察署に感謝状を贈呈いたしました。

本件は、ロードサービス業者の現場作業員が女子大学生の車のバッテリーを交換した際、「クーリングオフはしません」と契約書類に書かせた事件を立件したものであり、同業者による保険金詐欺事案が複数あることから、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をしたとして、その功績に感謝の意を表明したものです。

日本損害保険協会中部支部で行われた贈呈式では、中西支部委員長から愛知県警察本部生活安全部の渡邊生活経済課長、北警察署の水野生活安全課長、昭和警察署の菅生活安全課長に対し感謝状を贈呈し、事件解決への謝辞を述べました。

渡邊生活経済課長からは「今回は被害が拡大する前に早い段階で検挙できた。今後も損保業界と連携していきたい。」とのコメントがありました。

当支部は、今後も愛知県警察と連携し、不正請求の排除に向けた活動に取り組むことで、損害保険事業の健全な運営を行ってまいります。



贈呈式の様子

（中西支部委員長（中央左）、渡邊生活経済課長（最左）、
水野生活安全課長（中央右）、菅生活安全課長（最右）

以上